

2020年第1回青山ビジネススクール MBA フォーラム

『ニューノーマルにおけるマネジメントの可能性— リモート・ワークへの展開』

2020年7月27日（月）10:00-14:45 ZOOM Webinar

「つながる時代の組織と戦略セミナー第4回」共催

【趣旨と目的】

新型コロナウイルスの広がり、大きな社会変革をもたらすものであり、働き方、オフィス環境、オンラインの組織のコミュニケーション、O2Oのイノベーションに大きな可能性を持つ。20世紀初めマックス・ウェーバーは、オフィスが生まれ、プライベートと仕事場が分けられたことにより作業効率が上がると、「官僚制」の本質を明らかにした。21世紀に入ると、カリフォルニア発のITの文化は、オンとオフの境界をあいまいなものとした。今後の働き方変革と、日本の競争力に関し極めて重要である、リモート・ワークの可能性と実践への課題について、多様な知識と経験を持つ実務家をお招きし、現在の空気感を伝えながら、講演とディスカッションを行います

【参加対象と申込方法】

青山ビジネススクール（ABS）のMBA在學生と卒業生、将来MBAの取得を考える方、リモート・ワークに関心があるビジネス・パーソンや研究者などを対象、ZOOM Webinarによるオンライン・セミナー

ABSの以下のホーム・ページ URLからの事前登録制（登録後にメールでウェビナー情報を連絡します）

<https://www.aoyamabs.jp/index.html>

【プログラムとゲスト・スピーカー】

第1部 10:00~12:00（9:45頃からZoom Webinarを準備しますので、オンラインでお入りください）

1. **中野勉、ABS教授 司会**（現状、問題意識、ゲストのご紹介）
2. **内藤宏治氏、ウシオ電機株式会社代表取締役社長**（リモート・ワーク導入の実践とマネジメントの課題）
3. **吉田尚弘氏、富士通株式会社、デジタルワークプレイス事業部事業部長**（デジタルワークプレイスのセキュリティと在宅仮想デスクトップサービス Desktop as a Serviceの可能性）
4. **玉木慶介氏、三菱地所株式会社、営業企画部専任部長**（リゾート地での非日常性を訴求する「ワーケーションオフィス」及びBOX型スペース「テレキューブ」の立ち上げから）
5. **参加者とのQ&A**

昼休み 12:00~12:45

第2部 12:45~14:45

6. **成瀬岳人氏、パーソルプロセス&テクノロジー株式会社、ワークスイッチ事業部事業開発統括部部長**（茨城などでのリモート・ワークの実証実験から見えた課題）
7. **矢部俊男氏、森ビル株式会社、都市開発本部計画企画部メディア企画部部長**（時代と働き方を考える『ワークラボ八ヶ岳』から地方と東京を結ぶ）
8. **森恵氏、(株)マイカシミヤ代表取締役社長** ハナエモリ・オートクチュールのパリとニューヨークを長く担当後、軽井沢に移住（地域文化の重要性とO2Oの取り組み）
9. **ゲストによるパネル・ディスカッション**
10. **参加者とのQ&Aとまとめ**

内藤 宏治 (ないとう こうじ)

ウシオ電機株式会社 代表取締役社長。

上智大学外国語学部を卒業後、ウシオ電機入社。社内制度による留学の後、海外本部にて米国営業を担当。その後、欧州法人(ウシオヨーロッパ)に出向し、唯一の日本人スタッフとして営業を中心に経理や購買、SCMなどの管理部門を経て副社長に就任。

シネマ(映画)事業に早くから関わり、2010年にウシオ電機の主力製品であり、世界トップシェアを誇るシネマプロジェクター用光源の販売促進部長に就任。
2014年執行役員、2015年 光源事業部長、2016年常務執行役員を経て、2019年から現職。



Confidential

Copyright © 2020 ushio inc. All Rights Reserved.

矢部俊男

(やべとしお)



森ビル株式会社 都市開発本部計画企画部メディア企画部部長

1984年東海大学工学部土木工学科卒業。鹿島道路入社後、コンサルタント会社等を経て、1998年森ビル株式会社入社。六本木ヒルズ開発における都市開発プレゼンツールの開発・企画担当、都市の未来の視覚化・東京ジオラマ等の制作、都市開発・シティーセールスにおけるコミュニケーションツールのソフト開発業務などに従事。官公庁の地方創生関連や新しい働き方の提案を行い2018年にオープンした「ワークラボ八ヶ岳」をプロデュース。

プライベートでは1995年より長野県茅野市と東京で二拠点を開始。テレワークを実践し可能性について研究

玉木 慶介

Keisuke Tamaki



三菱地所株式会社 営業企画部 新事業ユニット ユニットリーダー 専任部長
テレキュー株式会社・テレキュー サービス株式会社 監査役
慶應義塾大学卒業後、三菱地所株式会社入社。経理部、広報部IR室長、ビル営業部戦略営業ユニットユニットリーダー等を経て、2020年4月より現職

タックスプランニング、コーポレートファイナンスを専門とし、IR室長在任中は米国の金融専門誌「Institutional Investor」による投資家・アナリスト調査において不動産・住宅セクターBest IR Professionalsを4年連続で受賞
ビル営業部及び現職では新しいワークスペースの商品企画を推進。リゾート地において非日常性を訴求するワークスペース「ワーケーションオフィス」事業、BOX型ワークスペース「テレキュー」事業の立ち上げ等に従事

早稲田大学大学院ファイナンス研究科(現 経営管理研究科)修了。税理士、再開発プランナー、一般財団法人日本不動産研究所 季刊「不動産研究」への寄稿「ビジネスインベーション スペースの新潮流とその経済価値」を執筆



森 恵 (もりけい)のプロフィール



ル・ローゼイ校 (スイス、ロール) 卒業、ペンシルヴェニア大学 (米国、フィラデルフィア) 卒業 一数学・美術学士

ハナエモリUSA在米法人 (米国、NY) 副社長、ハナエモリ・オートクチュール在仏法人 (フランス、パリ) 社長を経て、現在株式会社マイカシミヤの代表取締役。

1986年に北京MTEX在中国合弁会社の役員としてカシミア糸紡績工場の事業に携わってから、カシミア歴30年+。2020年5月1日令和と共にマイカシミア軽井沢店をオープンし、「軽井沢カシミア・ライフスタイル」を提唱・発信中。カシミア・ニットのぬいぐるみから、インテリア・ファッション雑貨、ワンちゃんウェア、ウィンマイルウェアなど、企画・生産・販売。

「国際人育成」をテーマに、早稲田大学、慶応大学、明治大学、首都大学東京、青森県立三本木高校等で講演。著書「『ヘンな日本人』～国際人への手引き～」読売新聞社

吉田 尚弘 (よしだ なおひろ)

Naohiro Yoshida



富士通株式会社 デジタルワークプレイス事業部 事業部長

中央大学理工学部数学科卒業、富士通入社後は銀行オンラインシステム開発に従事、1996年から英国ロンドンへ赴任、2005年から米国ロサンゼルスへ赴任 (海外駐在歴 15年以上)、2014年に帰国

現在、クラウドをベースとしたデジタル技術により、エンドユーザーが働く環境「デジタルワークプレイス」を開発・提供して、企業の働き方改革を支えている。例えば、在宅テレワークでもセキュリティを確保してオフィスと同じ環境で働けるサービス「DaaS (Desktop as a Service, 仮想デスクトップサービス)」を企画・開発し、70社以上の企業へ提供中

Profile

成瀬 岳人

【本業】パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
ワークスイッチ事業部 事業開発統括部 部長
【複業】総務省テレワークマネージャー

【学位】事業構想修士 (MPD)

<略歴>

2003年：システムマニュアル制作/導入研修講師を担当

2006年：IT業界にて派遣営業、スタッフマネジメントに従事

2012年：業務コンサルタントとして複数プロジェクトに従事

2015年：ワークスタイル変革コンサルティングサービスを立ち上げ、

複数社の労働時間改善やテレワーク導入を支援

2017年：東京都、茨城県等自治体のテレワーク普及促進事業の企画・運営責任者を担当

総務省より委嘱を受けて、テレワークマネージャーとして活動開始

2018年：自社メディア編集長/自社の事業部人事・働き方改革推進を担当

2019年：東京都のワークスタイル変革コンサルティング事業 企画責任者に着任

2020年：事業構想大学院大学卒業、新規事業開発部長に着任



中野 勉 (なかの つとむ)

Tsutomu Nakano, Ph.D.



青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 (青山ビジネススクール) 教授、コロンビア大学組織イノベーションセンター外部ファカルティ (External Faculty, COI, Columbia University)。

慶應義塾大学経済学部卒業、シカゴ大学修士、金融機関勤務を経て、コロンビア大学博士課程修了 (Ph.D.in sociology), University of Michigan 及び関西学院大学助教授を経て2007年より現職。組織のデザインと戦略、ネットワークとコミュニケーション、市場と消費などを専門とし、日米欧のビジネススクールにて企業戦略、組織論、国際経営を担当。2016年には Copenhagen Business School; École Normale Supérieure Paris-Saclay; Max Planck Institute for the Study of Societies; and University of Frankfurt AM Main にて客員教授または研究員、主要著書『ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス』(有斐閣2011)、『ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略』(有斐閣2017)、編著『Japanese Management in Evolution』(Routledge 2017)